

「くるる20周年記念特別セミナー」を開催しました

岐阜大学との産学連携プロジェクト「くるるセミナー（※）」は、シニア世代を対象に生涯学習やリカレント教育の場を通じて生涯現役社会の実現や地域コミュニティの活性化をはかることを目的に、「岐阜大学・十六銀行産学連携プロジェクト」の一環として、2001年10月より開講しています。

2021年10月に、くるるセミナー開講20周年を迎えたことから、2022年1月18日（火）、増田明美氏（スポーツジャーナリスト）を講師に迎え、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、会場とオンラインで「くるる20周年記念特別セミナー」を同時開催しました。

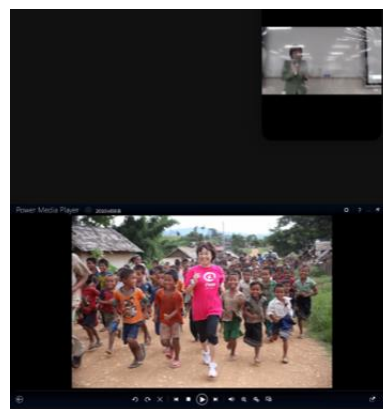
「スポーツと暮らしとエネルギーと」というテーマで講演され、人生100年時代、自分という長距離ランナーと向き合う中で、「2本の足は2人の主治医」という言葉があるように、大切な足の健康づくりはまず歩くことから始めてほしいと話されました。また、知(ち)・好(こう)・楽(らく)という論語に出会い、何でも楽しむことを心掛けるようになったことや、自身が会長を務める日本知的障がい者陸上競技連盟の東京2020パラリンピック競技大会における日本選手団の活躍、北京冬季五輪に出場予定の岐阜県出身注目選手などが紹介されました。

その他にも自身の活動として、アフリカの子供たちを募金や寄付を通じて支援する活動や、ランニングを通じて楽しむことを伝える活動も現地の写真を交え話されました。

受講生の方からは、「元気をもらった」「身体を動かす大切さがわかった」との感想をいただきました。



【オンライン開催】



（※）「くるるセミナー」は、「岐阜大学・十六銀行産学連携プロジェクト」の一環として、シニア世代（60歳以上）を対象に生涯学習やリカレント教育の場の提供を通じて、生涯現役社会の実現や地域コミュニティの活性化を目的に開講しています。年間25講座程度、歴史や自然、健康をテーマとしたセミナーを行っています。2021年12月末時点の延べ受講者数は2万1千人超。「くるる」とは、きく・みる・するを省略した造語で、元気に活躍されるシニアの方々をイメージした言葉の語尾をとって名付けられました。